



表面处理

本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

[illegible]

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	NHJK90-193N-2.5H
	製品寸法	360x493x19+70
	主部材	FB-3 × 19
	断面係数	Z = 0.18 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 256
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 180$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。			
	$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より			
	$\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 32000$			
	$\omega = 3.13$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。			
	$M = \omega \times 0.5 \times b \times (L - 0.5 \times b) / 2$ より			
	$M = 3.13 \times 0.5 \times 160 \times (256 - 0.5 \times 160) / 2$			
	$M = 22,035$ (N・mm)			
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。			
	$\sigma_b = M / Z$ より			
	$\sigma_b = 22,035.2 / 180,000$			
	$\sigma_b = 122.42$ (N/mm ²)			
	従って、許容応力 $\sigma_b = 180$ (N/mm ²) に対し、			
	<u>122.42 (N/mm²) $\leq$ 180 (N/mm²)</u>			

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--